

資金運用の高度化・多様化に向けた取組状況等について

2016年10月14日
株式会社かんぽ生命保険

1. 運用資産の構成

- 当社では、円金利資産と円金利負債のマッチングを図るALMの観点から公社債中心のポートフォリオを構築。
- リスク性資産については、2013年度から残高を拡大し、2015年度末時点で5.4兆円（占率6.6%）まで拡大。

運用資産の構成

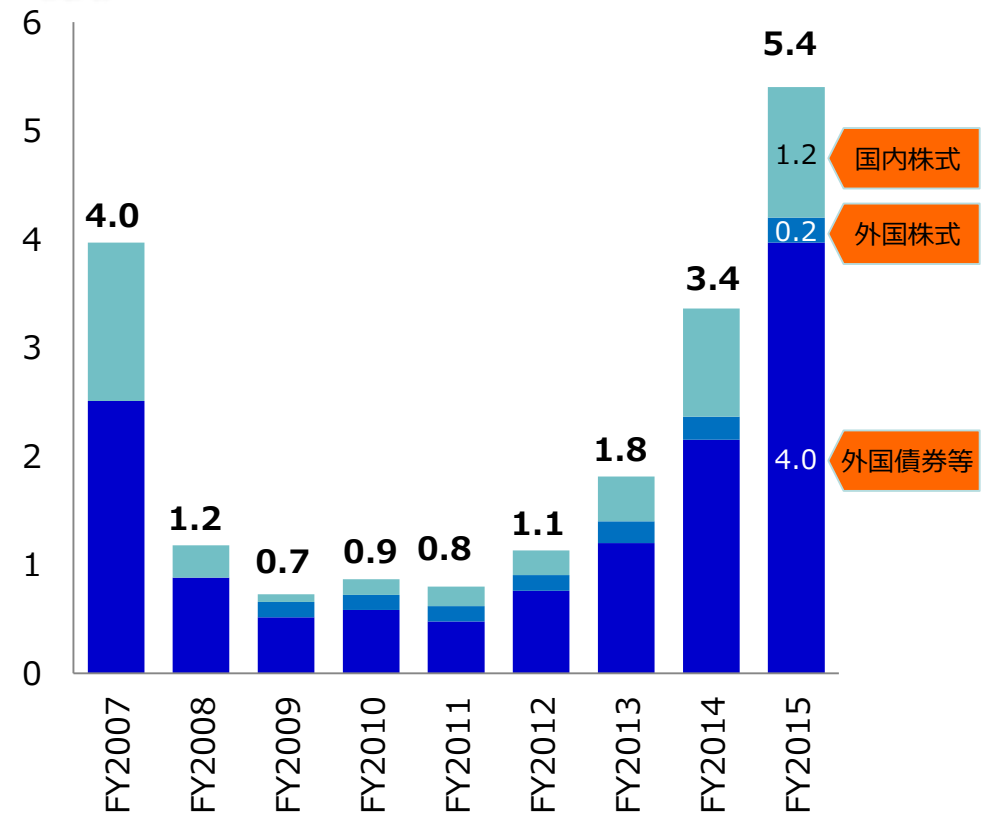
(億円、%)

		2016.3末	
		金額	占率
	公社債	598,210	73.4
	国債	441,786	54.2
	地方債	94,054	11.5
	社債	62,369	7.6
	リスク性資産	54,016	6.6
	国内株式 ¹	12,025	1.5
	外国株式 ¹	2,294	0.3
	外国債券等 ^{1,2}	39,697	4.9
貸付金		89,784	11.0
その他	うち現預金・コールローン	73,440	9.0
	うち債券貸借取引支払	22,226	2.7
	保証金	30,085	3.7
総資産		815,451	100.0

1. リスク性資産には、金銭の信託で運用している資産を含む
 2. 外国債券等には、その他の証券に分類される投資信託を含む

リスク性資産の推移

(兆円)



2. 2016年度の資産運用の多様化と態勢強化の取組

- 運用資産の多様化、人材・リスク管理の高度化を通じて、リスク性資産の占率を2017年度末までに10%とする計画を公表済み。

2016年度の取組

運用資産の多様化・リスク性資産の拡大

運用資産 の多様化

- 株式インハウス運用の開始(高配当・ESG・企業との対話重視)
- オルタナティブ投資(ハイイールド債、バンクローン、インフラ、マルチアセット等)

リスク性資産 の拡大

- 2016年度の運用方針は、海外クレジット、株式・オルタナティブへ重点的に配分
- 円金利資産への配分は必要最低限

足許の低金利環境が続けば、リスク性資産の占率は、
2016年度末に前倒しで10%へ到達する見込み

運用態勢の強化

外部人材 の採用

- 運用態勢の強化に向けた取り組みを開始。
 - ✓ オルタナティブ運用責任者の採用(7月)
 - ✓ 今年度中に海外クレジット・オルタナティブ分野を中心に20名程度採用(出向含む)

若手層 の育成

- 国内・海外の金融機関ヘトレーニー派遣(国内4名、海外2名)
- 国内・海外留学(国内1名・海外1名)
- 金融工学の通年講座を開催

第一生命保険 との連携

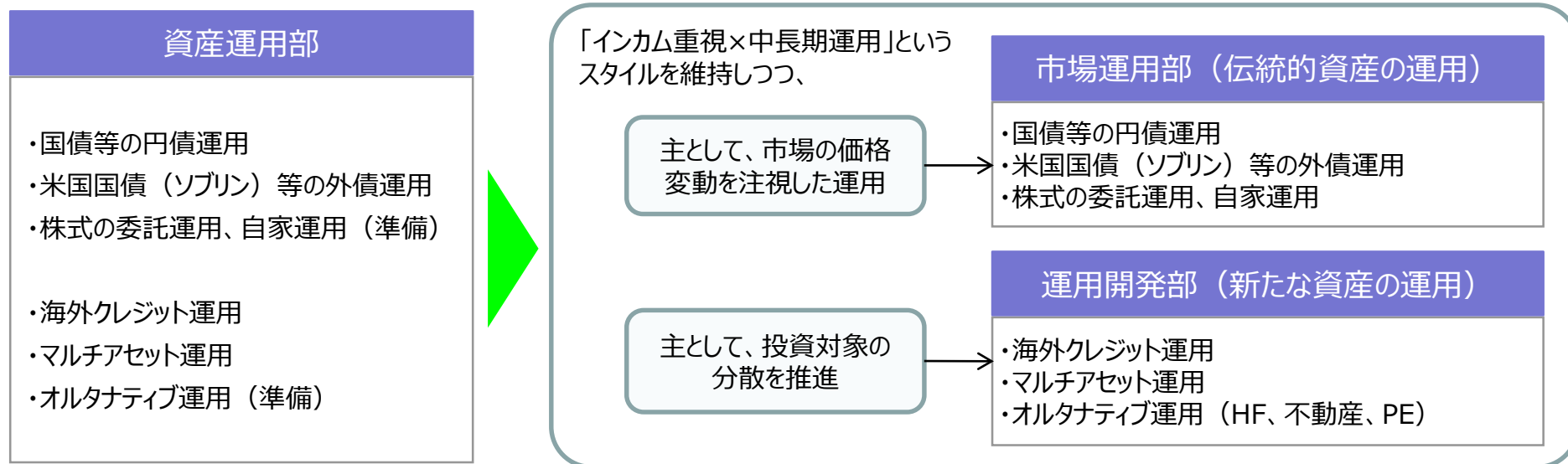
- インフラ投資、グループ運用会社の活用、バックオフィスの強化

3. 資産運用部門の機能強化（執行部門の再編）

- 資産運用部門の機能強化を図るため、現在の資産運用部を「市場運用部」と「運用開発部」に再編
- それぞれの資産特性に応じた運用多様化の取組みを加速させ、投資判断等の意思決定を迅速化

市場運用部・運用開発部の2部体制とする目的

- 資産運用部を、主として伝統的資産を担当し、市場の価格変動を注視した運用を行う「市場運用部」と、主として海外クレジット・オルタナティブ等の新たな資産を担当する「運用開発部」に機能を再編。
- 運用開発部にオルタナティブ分野の中途採用人材を集中配備し、高い専門性を持つ運用組織を早期に構築。



4. 資産運用態勢（組織再編）

- 執行部門を市場運用部、運用開発部、融資部の3部体制に再編
- 資産運用に関する社員については、外部人材の採用等により2016年度末時点に140名体制まで拡充を見込む

2016年4月1日時点



資産運用に関する社員数 **【121名】**

企画部門・執行部門 **【90名】**

リスク部門(資産運用リスク担当) **【31名】**

2016年10月1日時点



資産運用に関する社員数 **【130名】**

企画部門・執行部門 **【96名】**

リスク部門(資産運用リスク担当) **【34名】**

5. 今後の取組

- 2016年度は、人材の採用等を中心とした運用の多様化を推進するための地盤を構築
- 2017年度以降に、更なる運用多様化を進めるとともに、運用態勢を継続的に強化

FY2016

FY2017

ALMの
高度化

- ✓ 低金利環境に対応した中期目標ポートフォリオの策定
- ✓ ERM態勢の高度化に向けた取組(リスク・リターン評価の充実)

- ✓ 目標ポートフォリオを基準としたALM態勢の構築
- ✓ 運用収支予測ツールのレベルアップ(新システムの導入)

伝統的資産
の運用

- ✓ 株式自家運用体制の整備・運用開始
- ✓ 海外クレジット(IG)債券等の運用拡大

- ✓ 運用資産の一層の多様化
- ✓ 海外クレジット債券自家運用の検討

オルタナティブ
の運用

- ✓ マルチアセット運用の拡大
- ✓ BKローン等の運用開始
- ✓ PE, HF, REIT等投資体制の整備

- ✓ PE, HF, REIT等の運用開始

態勢・組織
・人材育成

- ✓ 外部専門人材の採用(リスク管理、運用コンプラ、バックオフィス人材の強化を含む)
- ✓ 執行部門の再編(10月)

- ✓ 外部専門人材採用の継続
- ✓ 若手人材育成の強化
- ✓ 運用人材の評価・処遇等の検討

※ERM態勢:統合的リスク管理態勢、 海外クレジット(IG):投資適格の海外社債等、 BKローン:バンクローン、 PE:プライベートエクイティ、 HF:ヘッジファンド